

2011年度

科目名	PP講座 I (地域コミュニティと子ども編)			
担当教員	岡島 克樹			
配当	文1・教1・人1・薬1	コード	80028	
開期	集中前期	講時	集中0限	単位数
授業テーマ	地域コミュニティの子育て機能の強化、子どもを含めたまちづくりの企画と実践			
目的と概要	<p>「今の子どもたちが抱える課題はなんだろう?」「小学生年齢の子どもたちにどのようなイベントを提供すればいいのだろうか?」を題材に、本講では、(1)子ども向けイベントを企画し、(2)プレゼンテーションを行うという2つの作業に従事してもらう。</p> <p>このような作業への従事をつうじて達成する学習目標としては、(1)「考える」とは何か、「考える」という行動の構成要素や重要性について知識を得るとともに、(2)「考える」ための基礎的なスキルの一部を使えるようになる、さらに、(3)社会人に必要な汎用的技能・態度とは何か、知識として理解できるようになるとともに、(4)その汎用的技能・態度(の一部)を向上させるということを設定している。</p>			
成績評価法	プレゼンテーション用パワーポイント(50%)、小レポート(50%)をもとに判断する。			
テキスト	ワークブック「PP講座(地域コミュニティにおける子ども編)」(受講学生には無料配布する)			
参考書	適宜、指示する。			
履修に当たっての注意・助言/準備学習	<p>当該科目はNPO法人「み・らいず」の全面協力により実施するものである。同法人は2001年に創設され、現在では、従来から活動の中心としてきた障がい者福祉以外にも、不登校などの子どもの諸課題、高齢者福祉、まちづくりの分野でも活動を展開されている。2003年にはおおさかNPOアワードグランプリ、2005年には社会企業家プランコンペ「edge」にて優秀賞を受賞するなど、社会的にも広く高く評価されている。</p> <p>イベント体験などでは、活動しやすい服装(スカート、ヒールのある靴はバツ)。宿泊研修では宿泊に必要なものを持参してください(詳細は履修登録者に別途お知らせする)。</p> <p>この科目では、教員による評価のほか、学生はウェブ上にある「キャリア教育効果評価システム」を用いて自己評価も行う。</p> <p>この科目は宿泊費・食費として約1万円の費用を徴収する。また、定員も設けられる予定である。詳しくは履修登録時に配布するチラシを参照するようにしてください。</p> <p>また、本講は本学が近隣の大学の学生にも開放している科目であり、他大学の学生とともに学ぶことをつうじて自分の世界を広げる機会としてほしい。</p>			
講義計画				
<p>1～2回目： 本学内の教室で、オリエンテーション(本講の趣旨・スケジュール概要・班分け・アイスブレイキング)、レクチャー(1)日本社会の変遷と地域の子育て力の変化、(2)「思考」とは何か—その重要性と構成要素)を受講する。</p> <p>3回目： イベント体験(み・らいず主催の子ども向けイベントにボランティアとして参加)を行う。</p> <p>4回目～15回目： 2泊3日で企画立案宿泊(課題分析～企画立案、中間発表、企画練り直し、最終発表、小レポート作成)を行う。</p>				